

# 玉川大学・玉川学園学友会 2023フレンドシップコンサート



THE GAEDE QUARTET  
**ゲーデ弦楽四重奏団**  
WITH  
Xuesu Gaede (Piano)

## 2023年10月21日(土)

**開演** 14:00 (開場 13:30)

**会場** 玉川大学 University Concert Hall 2016・MARBLE

**演奏曲目**

- |              |                                      |
|--------------|--------------------------------------|
| ・シューベルト      | 弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D810 「死と乙女」          |
| ・ドヴォルザーク     | ピアノ五重奏曲 op. 81 より 第1楽章 アレグロ・マ・ノン・タント |
| ・高橋幸代        | ”GAEDE”の情景                           |
| ・ペーター・ルードヴィヒ | タンゴメドレー                              |
| ・クルト・ワイル     | ユーカリ 編曲/高橋幸代                         |
| ・日本の歌メドレー    | 遠くへ行きたいー浜辺の歌ー糸 編曲/高橋幸代               |

※演奏者の都合により曲目を変更する場合がございます。

- 鑑賞券 2,000円 (全席指定)
- お申込み 9月4日(月) 9:00 ~ 受付開始
- お問い合わせ 学友会事務局 TEL 042-739-8960  
(9:00 ~ 16:00) 土日祝日を除く



申込QR

主催 玉川大学・玉川学園学友会

共催 玉川大学父母会

後援 学校法人玉川学園

# ゲーデ弦楽四重奏団 演奏者紹介

ゲーデ弦楽四重奏団は、東日本大震災直後の2011年10月に海外の演奏家たちが日本公演を中止する中で、敢えて日本の人々を勇気づけようと、ウィーン・フィル前コンサートマスター、ダニエル・ゲーデが、実弟であるセバスティアン・ゲーデや幼馴染の名手ステファン・フーヴァー、マティアス・シェスルと共に結成した楽団です。すでに2011年、2014年及び2017年に日本公演を行い、その素晴らしい演奏に、スーパー・クアルテットとして圧倒的な評価を獲得しています。今回の公演は、ゲーデ夫人である名ピアニスト、スイシュー・ゲーデと共に演奏をおこないます。



## ヴァイオリン ダニエル・ゲーデ Daniel Gaede

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター/ベルリン・バロック・ゾリステン音楽監督  
前読売日本交響楽団コンサートマスター

1966年ドイツ、ハンブルクに生まれる。6才よりヴァイオリンを始め83年ドイツ国内コンクール第1位及びカール・フレッシュ国際コンクール優勝。1986年にはクラウディオ・アバドの主宰するヨーロッパ・ユースオーケストラのコンサートマスターに就任。1991年から94年までベルリン芸術大学で教鞭をとり2000年以降はニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の要職にあります。1994年から2000年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団でコンサートマスターを務め、2013年から3年間は読売日本交響楽団のコンサートマスターの任にありました。日本ではウィーン・ピアノ五重奏団、ゲーデ弦楽四重奏団、ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団及びメランデ・ピアノ三重奏団他、多彩なコンサート活動の傍ら積極的に後進の指導にあたっています。

## ヴァイオリン ステファン・フーヴァー Stephan Hoever

バイエルン放送交響楽団団員/ミュンヘン弦楽四重奏団団員

1965年にドイツ、エッセンに生まれる。幼少時より父親からヴァイオリンの指導を受け、デュッセルドルフのシューマン・アカデミーでミカエル・ガイザー教授に学び1992年に首席で卒業しました。更にDAAD奨学金を得てアメリカに留学し、インディアナ大学ブルーミントン音楽学校でフランコ・グッリ教授の教を請いました。そしてクラウディオ・アバドの主宰するヨーロッパ・ユースオーケストラで第2ヴァイオリンの首席奏者を務めました。1993年から1995年までチューリッヒ・トーンハレ管弦楽団団員として活躍し、1995年以後バイエルン放送交響楽団団員となりました。またミュンヘン弦楽四重奏団のメンバーとしても積極的に活躍しています。



## ヴィオラ マティアス・シェスル Mathias Schesl

バイエルン放送交響楽団団員

1967年バイエルンの州都ミュンヘンに生まれる。ゲアハルト・ザイツ教授のもとヴァイオリンの指導を受けていましたが、1987年にヴィオラを専攻することとし、父親である名ヴィオラ奏者フランツ・シェスルの指導を受けました。1984年から1990年までザルツブルク音楽院に学び、トーマス・リーベル及びキム・カシュカシアンに師事しました。このザルツブルク音楽院時代にはすでに演奏家として、ハンガリー生まれの名ヴァイオリニスト、シャンドル・ベークの主宰するモーツァルテウム・カメラータ・アカデミカの一員として活躍しています。1993年にはスイスの名門チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団の首席ヴィオラ奏者に就任し、1998年には郷里の誇りであるバイエルン放送交響楽団団員となりました。



## チェロ セバスティアン・ゲーデ Sebastian Gaede

NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団団員/パイロイト祝祭管弦楽団団員

1967年にドイツ、ハンブルクに生まれる。5才よりチェロを学びハンブルク音楽アカデミーに進み、ウォルフガング・メルホーン及びベルンハルト・グメリンの指導を受けました。1983年ドイツ国内コンクールで優勝し、1986年にはエドアルド・ゼーリング賞を受賞。1988年まで2人の兄（トーマス・ゲーデ及びダニエル・ゲーデ）と共にゲーデ・トリオを組織しドイツ国内外で活躍しました。1986年から1990年までクラウディオ・アバドの主宰するヨーロッパ・ユースオーケストラに所属し、1992年以後ハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団団員となり、2014年に北ドイツ放送交響楽団（現NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団）に移籍しました。1995年からパイロイト祝祭管弦楽団のレギュラーメンバーでもあり、また室内楽奏者としても多くの演奏会に出演しています。



## ピアノ スイシュー・ゲーデ Xuesu Gaede

ゲスト出演

ダニエル・ゲーデ夫人のスイシュー・ゲーデは中華人民共和国の古都西安の音楽家一家に生まれる。1978年から1984年まで北京中央音楽院に学び、1987年からはベルリン芸術大学でクラウス・ヘルヴィグ教授の指導を受けました。ソリストとしてベルリン・フィルハーモニー・ホールでデビューの後、ヨーロッパ、アメリカ及びアジアの国々で多くのコンサートに出演し、北京国際音楽祭、アレグロ・ヴィーヴォ、アジア音楽祭等に招かれ演奏しました。室内楽奏者としてもベルリン・フィルやウィーン・フィルのメンバーと共演。夫であるダニエル・ゲーデとは、チェロ奏者ユリウス・ベルガーを加えてピアノ・トリオ「トリオ・セシール」を創設し活躍しています。

